

# こっこめ通信 10 2026

「大雨は懲り懲り」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「アゲハ（チョウ）多くないですか？」という質問が多く寄せられます。昨年秋の台風で倒れた木々の根元が明るくなり、カラスザンショウの実生が多数出てきたため、産卵しやすく、幼虫が羽化しやすい環境になったことが要因だと思われます。夏場は集団で水を飲んでる姿もよく目にしました。台風や大雨で少なくなることもなかったですね。

さて、今回は「渡ってきた鳥たち」、「大雨と台風だった9月」、「ゆるり自然観察会『鳴き声の主』」についてのお話です。

## 渡ってきた鳥たち

昨年10月の台風で道が崩れてしまった島の南半分（三原山側）の道は、一年経った今も通行止めが続き、鳥たちの動きが全く調査できていません。また、渡り鳥が降り立つ場所になっていた南原スポーツ公園のサッカー場は、倒木等の仮置き場として現在も利用されているため、鳥が降りてこられない状態です。枝が折れ、倒木も多かった八丈植物公園も以前とは様子が違うのか、春の渡りの鳥はほぼ見られませんでした。

そんな状況でも越冬地に向かう鳥たちが島に立ち寄っています。特に海岸や水辺を好む鳥はチラホラとその姿を見ることができました。下の写真の鳥たちの他にもビジターセンターでは夏以降に、エリマキシギ、イソシギ、クサシギ、タカブシギ、キョウジョシギ、オバシギ、ムナグロ、チョウゲンボウ、タシギ類、エゾビタキを確認しています。種数・個体数も多くないですが、イソシギとクサシギは何故が多く、セイタカシギも6羽は降り立っています。例年スポーツ公園に降り立つ鳥たちは、今年は空港滑走路横の草地に降りている可能性もあります。

スポーツ公園は、春以降に原状復旧に着手するとの町からの発表もありました。鳥たちが元通りに降りてくるには時間がかかるかもしれません。また災害廃棄物が出るような台風や大雨が起こりませんように。（H.T.）



セイタカシギ

2026.8.31 東浦海岸



トウネン

2026.8.31 東浦海岸



メダイチドリ

2026.8.31 東浦海岸



キアシシギ

2026.9.12 神湊漁港



ツバメ

2026.9.12 南原スポーツ公園周辺



チュウシャクシギ

2026.9.9 東浦海岸

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

# 大雨と台風だった9月

2026年9月は秋雨前線や台風の影響により、東北から西日本にかけてかなりの降水量になり、被害も多数発生してしまいました。被害に遭われた方へお見舞い申し上げます。

八丈島でも9月は平年の360.5mmの2倍を超える843.0mmの降水量がありました。この降水量は9月としては5番目に多い記録で、その他の記録は平成や昭和の初め頃、明治などかなり古い記録でした。

(気象庁統計：1906年から2026年まで)

9月に降水量が多かった要因は、6日に停滞した秋雨前線、21日に直撃した台風25号、30日に通過した台風26号の影響です。

6日の秋雨前線は沖縄に台風24号が停滞したことにより雨雲が発達し、日付が変わった頃から降水量が多くなりました。午前6時40分までの1時間に約110mmの猛烈な雨が降り、気象庁から記録的短時間大雨情報が発表されています。レベル4土砂災害危険警報及びレベル3大雨警報の発表もあり、土砂災害警戒区域に住んでいる方に対し避難指示が発令されました。避難所の開設や通行止め、施設の休館など、慌ただしい朝でした。最終的に6日の降水量は昨年秋の台風22号を上回る359.5mmの降水を記録し、日降水量としては過去7番目となりました。

台風25号は20日頃に接近すると思われていましたが、スピードが遅くなり21日の昼前から夕方にかけて島の西側を北上していきました(「台風25号進路図」参照)。この台風は北西側に発達した雨雲があり、伊豆諸島北部から神奈川県・千葉県にかかり続け、大雨による被害が発生してしまいました。夕方以降、吹き返しの強風を警戒していましたが、八丈島では最大瞬間風速35.2m/sで留まっています。進路的に、50m/s近くの風が吹くのではと警戒していたので良かったです。しかし、昼から夜半近くまでの半日も停電や断水が続いた地区もありました。降水は台風が接近した前日の20日に93.5mmを記録しています。

そして月末にやって来た台風26号。一時勢力が強くなりましたが、島に近づいた時には勢力が衰え、何事もなく通りすぎていきました。

9月と10月は台風の接近や秋雨前線により1年の中で降水量が比較的多くなります。秋雨前線の場合は、南の海上に台風があると台風からの湿った風により前線が発達してさらに降水量が多くなります。八丈島で大雨を記録した秋雨前線にはもれなく台風がセットになっていました(「日降水量観測史上1～10位の値」参照)。

三原山側には昨年の台風で崩れた斜面がまだむき出しで残っている箇所もあるため、短時間に降水量が多くなると崩れる可能性もあります。今後は一日を通しての降水ではなく、短時間に降る雨にも留意し、防災意識を高めなければなりません。もう雨は懲り懲りですね。(H.T.)

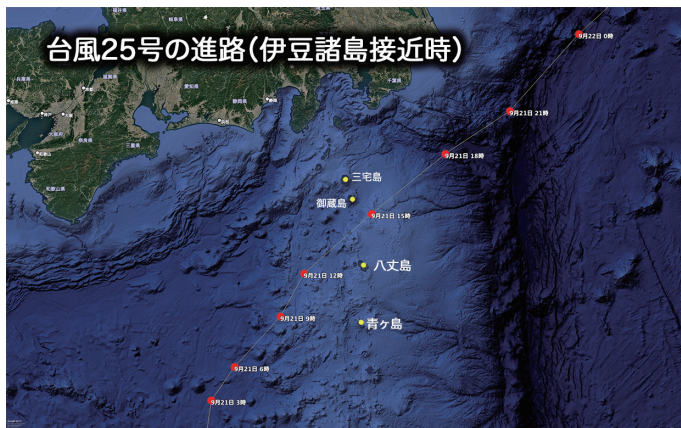
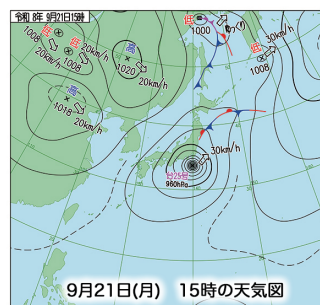
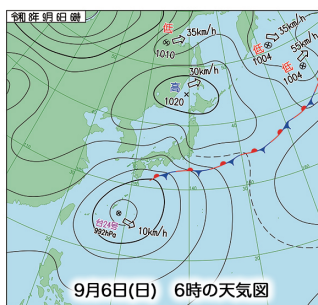
9月の月降水量 観測史上1～10位の値

|     |         |              |
|-----|---------|--------------|
| 1位  | 916.5mm | 1908年(明治41年) |
| 2位  | 894.9mm | 1940年(昭和15年) |
| 3位  | 852.8mm | 1929年(昭和4年)  |
| 4位  | 851.8mm | 1941年(昭和16年) |
| 5位  | 843.0mm | 2026年(令和8年)  |
| 6位  | 819.8mm | 1965年(昭和40年) |
| 7位  | 805.0mm | 1938年(昭和13年) |
| 8位  | 791.5mm | 1998年(平成10年) |
| 9位  | 766.5mm | 1935年(昭和10年) |
| 10位 | 713.5mm | 1991年(平成3年)  |

日降水量 観測史上1～10位の値(八丈島で年間を通じての値)

|     |         |            |                       |
|-----|---------|------------|-----------------------|
| 1位  | 438.5mm | 1941/9/19  | 台風(八丈の南を通過・南海タイムスより)  |
| 2位  | 425.2mm | 1965/9/25  | 台風26号(八丈の南を通過)        |
| 3位  | 419.5mm | 1998/9/7   | 秋雨前線(洞輪沢と鉢巻き道路で土石流発生) |
| 4位  | 397.5mm | 1988/10/8  | 台風24号(八丈の南を通過)        |
| 5位  | 368.0mm | 1968/10/23 | 台風19号                 |
| 6位  | 359.6mm | 1936/10/20 | 台風(八丈の南を通過・南海タイムスより)  |
| 7位  | 359.5mm | 2026/9/6   | 秋雨前線(九州に台風24号あり)      |
| 8位  | 356.0mm | 1987/9/16  | 台風13号(八丈の南を通過)        |
| 9位  | 340.2mm | 1953/8/29  | 秋雨前線(南海上に台風10号と11号あり) |
| 10位 | 337.5mm | 2025/10/9  | 台風22号(八丈の南を通過)        |

\* 1953年の台風第2号から現在のような番号表記になっている



# ゆるり自然観察会「鳴き声の主」

今回のゆるり自然観察会は9月13日に参加者1名と実施しました。テーマは「鳴き声の主」で、虫の声が聞こえたら立ち止まり、どこにいるのか探して主の姿も観察するという計画でした。しかし、前日の下見であまり鳴き声を聞くことができなかったため、当日は野鳥も含めて声を聞き、それ以外の音にも耳を澄ましながら歩くという行事になりました。

ビジターセンターからバードサンクチュアリを経由して南エントランスまで歩き、キョン舎広場と八丈の森を通してビジターセンターへ帰ってくるというルートを取りました。前回とはまた違う道をゆったりと歩き、鳴き声が聞こえたら立ち止まってどの辺りにいるのかを参加者と共有し、どんなふうに聞こえるのか擬音を使って表現してみたりしながら楽しむことができました。

行事を通して声を聞くことができたのは、野鳥ではヒヨドリ、キジバト、ハシブトガラスの3種。虫では「ジジジジ」と鳴いていたヒメクダマキモドキ、樹上から「チン・チン・チン」とおそらくカネタタキの鳴き声、エンマコオロギが「コロコロリー」と鳴いていたのが聞こえました。体長1センチに満たないシバズ(写真下)は発見して採集することができたので、ビジターセンターに持ち帰り、鳴くのを待っていると「ジーーーー」と長く鳴いているときと、「ジーーーーッ」とときどき不規則に鳴くことが確認できました。もしかしたら、「捕まってしまったよー、他に誰かいらないのかー」なんて言っていたのかもしれませんが。確認した後は自然に帰したので、また元気に鳴いているはずです。ちなみに写真中央のアマミキボシカミキリは観察しただけだったため、「ギィ、ギィ」という警戒音は聞けませんでした。音を出すかどうか確認すればよかったと反省しています。最終的に鳴いた虫は6種と少なかったですが、全てではないにしろ、鳴き声の主を見ることができてよかったです。

鳴き声である程度どの方向からするのかはわかりましたが、主を見つけるのも、声で種類を判別するのは非常に難しいと感じました。しかし、視界に映るものだけでなく、自然の音に耳を傾けて歩くというのはとても新鮮で、普段の生活ではなかなか耳に入らない虫の声を聞く良い機会になったと思います。

10月は「花に集まる虫」をテーマに開催します。季節の花とそこにやってくる虫と一緒に観察しましょう！(K.T.)



八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、上記「鳴き声の主」でも聞けた「エンマコオロギ」にスポットを当ててみたいと思います。



## エンマコオロギ

## *Teleogryllus emma*

コオロギ科エンマコオロギ属。北海道から九州に分布。

大きさは30mm前後、島の中では大型のコオロギ。成虫は夏の終わりから秋に見られ、「コロコロリー」と鳴きます。

黒い顔にある褐色の眉斑で見分けが付き、眉斑は右下の様な模様。

「バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑」などの図鑑によると伊豆諸島では八丈島以外は伊豆大島のみが分布域になっているので、八丈島は移入種の可能性があるかもしれません。(H.T.)

2026  
10

# 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。  
また日付の横は月の満ち欠けです。

| 日                                                                              | 月                                | 火  | 水  | 木                          | 金                           | 土                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|----|----|----------------------------|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>この色の日は<br/>ガイドウォークや<br/>特別行事があります</div>                                   |                                  |    |    | 1                          | 2                           | <div>●</div> <div>3</div> <div>ガイドウォーク</div>                                                       |
| <div>4</div> <div>ガイドウォーク</div>                                                | 5                                | 6  | 7  | <div>寒露</div> <div>8</div> | 9                           | <div>10</div> <div>ガイドウォーク</div>                                                                   |
| <div>●</div> <div>11</div> <div>ガイドウォーク</div> <div>ゆるり自然観察会<br/>「花に集まる虫」</div> | <div>12</div> <div>ガイドウォーク</div> | 13 | 14 | 15                         | 16                          | <div>17</div> <div>ガイドウォーク</div>                                                                   |
| <div>18</div> <div>ガイドウォーク</div>                                               | <div>☾</div> <div>19</div>       | 20 | 21 | 22                         | <div>霜降</div> <div>23</div> | <div>24</div> <div>ガイドウォーク</div> <div>八丈学講座<br/>「秋の虫を探してみよう！」</div> <div>講演会<br/>「天然記念物の鳥たち」</div> |
| <div>25</div> <div>ガイドウォーク</div>                                               | <div>○</div> <div>26</div>       | 27 | 28 | 29                         | 30                          | <div>31</div> <div>ガイドウォーク</div>                                                                   |

## イベントプログラム

|                        |                                                                                                                         |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ゆるり自然観察会<br>「花に集まる虫」   | 毎月テーマを変えて、ゆったりと公園内の自然を親しむ自然観察会。今回は花に集まる虫探し！<br>10/11(日) (13:30～ 約1時間半)<br>小学生以上 (小学生は保護者同伴) ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名 |
| 八丈学講座<br>「秋の虫を探してみよう！」 | 毎月行っている八丈学講座。ホテル水路周辺を散策します。一緒に色々な虫を探しましょう！<br>10/24(土) (13:30～ 約1時間半)<br>中学生以上 和泉親水公園駐車場集合・解散 参加費：50円 定員：10名            |
| 植物公園ガイドウォーク            | 解説員が植物公園内をご案内します。<br>毎週 土日祝日及び休日、(10:30～ 約1時間) だれでも参加できます。<br>ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名                                   |
| 講演会<br>「天然記念物の鳥たち」     | (公財)日本野鳥の会の山本裕さんを講師にお招きして、東京文化財ウィーク企画事業として開催！<br>10/24(土) (19:30～ 約1時間半)<br>小学生以上 (小学生は保護者同伴) ビジターセンターにて 参加費：無料 定員：55名  |

## ビデオプログラム

|                  |             |
|------------------|-------------|
| 10:00～           | 八丈・海・生きものたち |
| 11:00～           | おじゃりやれ 八丈島  |
| 14:00～           | おじゃりやれ 八丈島  |
| 15:00～           | おじゃりやれ 八丈島  |
| 16:00～           | 八丈・海・生きものたち |
| 上記以外の上映は予約にて可能です |             |

東京都八丈ビジターセンター 2026.10.1 第305号

開館時間 9:00～16:45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

## 編集後記

横間海岸にカクレイワガニより大きくて赤くないカニがいたと S.K. さんが持ってきてくれました。調べた所「オオカクレイワガニ」と分かり、千葉県立中央博物館分館 海の博物館の奥野さんに報告したところ、過去にも記録がありました。初記録ならず残念！(H.T.)